

【担当教員名】 永井 洋一， 森 直樹（非常勤）	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：GIO＞】

発達障害児に対する作業療法を実践するために必要な治療理論と原理を学び、子どもと家族の生活に密着した治療目標、治療活動を立案するための基礎的能力を身につける。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】

1. 発達障害に対する作業療法の原理と主な治療理論について説明できる
2. 神経発達学的治療の主な概念が説明できる
3. 脳性麻痺児に対する作業療法の原理と手法について説明できる
4. 感覚統合療法の主な治療原理が説明できる
5. 軽度発達障害に対する作業療法の原理と手法について説明できる
6. 知的障害に対する作業療法の原理と手法について説明できる
7. 重症心身障害に対する作業療法の原理と手法について説明できる
8. 整形外科疾患、内部障害、神経・筋障害に対する作業療法の原理と手法について説明できる
9. 発達障害児の療育に関連する法律・福祉制度の概要について説明できる
10. 特別支援教育における作業療法の役割が説明できる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	発達障害の作業療法：治療の原理	1	永井
2	発達障害の作業療法：治療理論	1	〃
3	神経発達学的治療概論	2	〃、小テスト1
4	脳性麻痺の作業療法(1)	3	森
5	脳性麻痺の作業療法(2)	3	〃
6	感覚統合療法概論	4	永井、小テスト2
7	学習障害、ADHDの作業療法	5	〃
8	広汎性発達障害の作業療法	5	〃
9	知的障害(精神発達遅滞)の作業療法	6	小テスト3
10	重度心身障害の作業療法	7	
11	整形外科疾患・内部障害の作業療法	8	〃
12	筋ジス、二分脊椎等の作業療法	8	〃
13	療育に関連する法律・福祉制度	9	小テスト4
14	特別支援教育と作業療法	10	〃

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	日本作業療法士協会：作業治療学3「発達障害」第2版、協同医書出版社、1999、¥3,400+税（購入済み）			
参考書	脳性麻痺児の家庭療育（原著第3版）、Finnie, N.R.（鈴木、梶浦訳）、医歯薬出版、1999、¥3,500+税 発達障害と作業療法【実践編】、岩崎清隆、岸本光夫 三輪書店、2001、¥3,300+税 発達過程作業療法学 福田恵美子（編） 医学書院 2006、¥4,200			
その他の資料	授業時に資料を配付する			

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席：10%、 Minute Paper：20%、 小テスト：20%、 期末試験：50%	人間発達，小児科学，発達障害作業療法評価学・同実習の単位を修得していなければならない